第二百七十五號

NAMBEI SHIMPO

29 de FEVEREIRO de 1940

週刊南米

NOTICIAS DA GUERRA EUROPEA E SINO-JAPONESA

サンパウロ市ピレーレス地
モッタ八三八番
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三ミルレス
廣告料 一段 七〇ミルレス

本紙の特色
ニュースの週間綜合編輯

フ軍頑強に應戰し
蘇軍相當に苦戰
蘇聯軍既に十萬の兵を喪ふ

△

ソ聯のフィンランド侵略戰はフィンランド軍必死の防戰でソ軍には相當の損害を被り居るもの、如く廿六日ヘルシンキよりの報によれば、開戰以來ソ軍の死傷十萬人と算せられ毎日四千人の兵が斃れて居ること、なつてゐる。即ち本月廿三日までにソ國側の被りたる損害は飛行機四七六、タンク一一九三、砲三〇二、機關砲三九九、カミニョ六三〇、機銃七六、料理場一一七、自動車五〇〇、馬一五七〇となつてゐる。而して目下兩軍が鎬をけづつてゐるカレリヤ地峽方面に於ける戰況は頓に活氣を呈しフ軍のマシネルハイム要塞線突破説も傳へられてゐるが、フィンランド軍司令部はこれを否定してゐる。一方モスクワよりの報によれば、ソ軍は廿五日カレリヤ戰線に於て八個の鐵筋コンクリート製砲兵陣地を含む廿八個の堡壘を奪取して敵の防備線を突破したが、他の戰線に於ては特筆すべき戰闘はない、又空軍は數ケ所に有効なる爆撃を加へ且つ空中戰にてフィンランド機十機を撃墜したと發表してゐる。

△

ベルリンのベリヒテ紙はドイツは、ソフ戰爭の仲裁に立つべき時機に到來したと報じ、ドイツ政府はソ聯に對し今度の歐洲戰の終末が前途未だ遼遠であるが、この戰に勝利を得たあかつきには盛武歐洲を壓すること、なるが故に、フィンランドの如きは即刻和を嬉すべし、ソ國がフィンランドの爲めに經濟力を消費してゐるが、それは無意味の消費である、ソ國としては未だ軍備經濟兩面に亘つて先づ充實を期することが先決の急務であらう。現に歐洲東部及びトルコ南部への侵出の場合を想ふも、ソ國が北歐の平和を尊重する事は賢明であり又吾人の切望する所である旨を述べて、我政府はソ國に對しフィンランドとの講和を速に勸告すべしと論じて居る。

△

ドイツ紙の以上の如き嬉和說と相前後してロンドン電報によれば、イギリス外務次官リカルド氏は駐英フィンランド公使からフィンランド國は日に增し猛烈なるソ軍よりの攻撃により、最早や軍事經濟兩方面とも是れ以上の戰爭繼續の力盡きつゝあるの窮狀に陷つてゐるから、第三國よりの積極的援助を渇望してゐるが特に此の際イギリスへ仲裁方を懇願して來た。併し我國としてはソフ兩國の平和には贊意を表するも目下のところ兩國の間に立つて仲裁の勞をとる事は出來ない。とフィンランド公使の申出を拒絶したと聲明した。

嵐の前夜巴爾幹
既に英佛は大軍を國境に集中
伊太利遂に起つか

△

スタンブール電によればトルコ政界ではドイツとソ國との行動に細心の注意を拂つてゐるが、バルカン地方に於ては伊タリアとトルコは、バルカン政策に關して正面衝突をして居り場合によつてはイタリアが先きにバルカン地方から攻撃さるゝ、であらうとの說が專ら行はれてゐる、また同地のエニサハ紙の報道によればイタリアは今回トルコ政府が行動を開始せるバルカン諸國に對し、極めて惡感情を抱きトルコも亦イタリアに對し、そのバルカン政策に絕對反對の立場からトルコとイタリアとの衝突は今や不可避と見られてゐると傳へてゐるが、同時にブカレストよりの報に於ても、同市は昨今いよ〳〵戰爭氣分濃厚となり、軍部はドイツ軍のハンガリア突破に備へ、同國々境へ多數の武器彈藥と大量の陸軍終結中である、同國參謀本部よりの發表によれば來月一日までに二百萬の大軍を戰線へ送り國境防備の完璧を期すると云ふが、この二百萬の聯合軍は一方に於てソ聯のトルコ國境集中に對抗してトルコ防衛に當るわけである殊に要衝ダーダネルス海峽地帶に今や滿を持して待機し又ルーマニヤ、トルコ及びイラン地方の石油坑に對し敵軍の奪取に備へて居るが、そも〳〵英佛兩國が此地方に兵力集結の動因はトルコとイギリスが軍事同盟を締結せるに始まり、トルコがダーダネルス守備の力弱くその上ルーマニア援助の力もなきために、この地方より盛んにドイツに向けて原料品と食糧の移入されるのを防がんとし、またソ聯側はコーカサスの石油產地を守つて其石油のドイツ移入を助けてゐるが故に聯合軍は近くコーカサス攻略を目指すもの、如くであるから、斯くてバルカンは正に嵐の前夜の如き形勢に在る尙ロンドン電報によればイギリス艦隊は愈々ソ國のムルマンクス要港封鎖のため出動したと云ふから英露海戰の機も遠くあるまい。

新支那統治の態樣
封建式制度に依らねばならぬ

△

日支事變の進展に伴ひ、支那に於ける同憂具眼の士は漸次頭を出し既に北方に臨時政府が出來中支に維新政府が生れ、其他の各地には恒例に依り假組織せられたる治安維持會等も段々其の基礎强固を加へ殊に最近汪兆銘を中心とする中央政權が成立せんとするの胎動が始まり、遲かれ早かれ出來上る模樣である、地方政權も中央政權も我等と同憂の熱の結晶として生る、ことは、喜ぶ所であるが、玆に其の統治の型に就ては大に檢討を要するものがある、今日まで出來上り又今後進まんとする臨時、維新兩政府及目下胎動中の中央政府の統治の態樣は、殆んど一樣に、民主々義と中央集權の型であるやうに見受けられる、是れ或は孫文の三民主義革命と云ふものが容易に支那に浸透し、現在の支那人民は民主々義政治に慣熟せられて居ると、の見解に基くものであるかも知れない、又或は支那は易生革命の國であるから何れを主とし何れを侯とするかは到底定められない

△

そこで民主々義の下に政治を行ふのが適當であるとの考へから來て居るのかも知れない、併しながら支那民族數千年來の史實に徵すれば、支那は決して孫文の言ふが如き民主々義の政治で暮して來たのではない、孫文の三民主義の第二項の民權主義なるものは、長く外國に留學して居つた若き學生でも中々容易に呑込めないと云ふて彼れ自ら歎息して居つたことを見れば、支那民族に對する統治の態樣としては、不適當なることは余りにも明瞭である、又支那は易姓革命の國であるから、中心點がないと見るかも知れないが、それは皮想の觀察である、易姓革命の國ではあるが、支那には支那の政治哲學があゝ、數千年來此の政治哲學が支那の民心を支配して居る。

△

支那の政治哲學とは何ぞや、即ち『道』と云ふ大切なものがある、帝王も侯伯も匹夫匹婦も此の道に從はなければならない、道は如何に之を求むべきやと云ふに、即ち先覺の士之を明に、之を敎へ、之に從ひ、以て國を治め天下を平にするのである、時に依り代に從つて其の名稱を異にしても居る、然れども歸する所は道の一字に在るのである、即ち支那は先覺者が道を行つて民を率ゐ、治國平天下の大業を爲したのである、言葉を換へて之を唱ふれば支那の政治は先覺哲人政治である。

△

支那の政治の傳統は此の先覺政治にありと云ふことが肯定せらるゝならば、臨時政府、維新政府及將來發生せらるべき諸政權の政治義の態樣で果して効を奏することが出來るであらうか私は到底目的を達することが出來ないだらうと思ふ、其の證據には皇軍の絕大なる武威を示し、加ふるに支那側の所謂同憂具眼者の眞劍なる努力と、我が國の正義に基く指導にも拘らず、東亞の新秩序なるものは一向に彼等に請け容れられないと云ふことである、殊に社會の中流以上に請け容れられないと云ふことは、大に檢討しなければならないことである。

△

支那を治むるには其の史實、民族性、傳統の文化と云ふものを基調としなければならない、第一に政治の根本原理は前述の如く、道と云ふ政治哲學に基き、先覺政治でなければならない第二に先覺は唯一人ではない大中小の先覺を其の磐望の埒ゆる範圍内に於て之を尊重し之をして其の及ぶ範圍を治めしむるのである、第三に私有財產を確實に保護することである、即ち之を一言にして言へば封建的の態樣を以て指導するのである、或は今日我國の立憲政治に育つた人は今頃封建かと笑ふ人があるかも知れないが、大亂の後に治安を回復せんが爲には是非共封建式の制度に依らなければならぬものである、封建式は先づ人民を一地に釘着にすることが肝要だ、一地に釘着にして、然る後に第二斯くて神秀上座と慧能師とは劃然門戶を分つて學人を指南されること、なり、慧能師の門下が漸く隆昌を極め、唐宋の時代の佛敎界を風靡し日本に傳つて鎌倉足利の禪を興隆せしめた。

神秀上座の語と慧能のそれとを比較して見ると前者は『時々に勤めて拂拭して塵埃を惹かしむること勿れ』といふ、これは凡夫世界のことである、清濁、善惡美醜、これを對立的に見、

△

吾等は對立の世界を脫却するとき絕對の世界に入る、これは言葉を以て說く能はず、分別心を以て分別する能はざる世界である、佛の辯才を以てしても說示する能はざる世界である。

しかしながら强ひてその片鱗を窺ふならば、純淨無垢の至情によつて時あつて人の透入する世界は、それに似たるものであるといふことができる。

△

金剛經に『まさに住する所無うしてその心を生ずべし』とある、この語は要するに絕對の世界に既に透入したる聖者が、後輩を手引きし注意していふ語であつて、絕對の世界に入り込んでゐる自身は、無礙自在に何處にも住著する所無うして、而もその時その時、時を誤らざる心を生じて任運無礙たる事を得るのである芝の增上寺には狩野一信筆の五百羅漢像が寶藏されてゐる、この畫像には田畑を耕してゐるもの、馬子になつてゐるもの、大工、左官、設計師、官吏、商人と種々樣々の務めに從事してゐる羅漢があつて珍らしい

△

思ふにこれは、絕對の世界の生活を五百羅漢によつて表現したものである、こゝには各自その因緣の合成する所に任せて、公案を現成しゆく健かなる精進が行ぜられてゐる（如實の世界に生きる）清濁、美醜、憎愛等を超越して妙樂無礙の世界が進展してゐる。

吾等は純淨無垢の至情によつて清濁の世界を越え得るのである、禪家の直指によつて對立の世界を脫し得るのである、この法幸を悅んで具管打坐、佛座より滑り落ちざること、これが吾等に示されてゐる佛祖觀言の最要である。

△

我々が遠く祖國を離れてたま〳〵國歌君が代を奉唱し或は聽き、またはサントス入港の日本船の檣上高く翩々として飜る日章旗を仰ぎたる刹那の感激こそ實に日本民族の生命である、海ゆかば水づくかばね、山ゆかば草むすかばね、大君の邊にこそ死なめかへりみはせじ、吾等は渾身赤誠一死奉公を念ずるの外に何ものもない、西行法師（鳥羽上皇につかへし北面の武士佐藤義清廿三歲にして感ずる所あつて出家）は伊勢の大廟に詣で感極まつて泣き、

何ごとのおはしますかは知らねどもかたじけなさに涙こぼる、

と詠嘆されたと聞く、何事のおはしますかは知らずして、たゞ有りがた涙が眼ににじむ、こゝに眞の生命がある訾き血汐が流れてゐる

何ごとのおはしますかを知つて、而して有りがたさを知るにあらざれば價値が無いといふ人がある、そういふ主知主義や功利主義は吾等日本民族の名に於て斷然排擊せねばならぬ。

肚の修養禪の話

山田靈林稿
無文漢敷衍

（九）

人は一度美味なるものを食べると仲々忘れることができぬ、あゝ又あれが食べたいナと思ふ、そこに迷が起つて來る、金に執着する者は金に迷ひ、酒に執着する者は酒に迷ひ、色に執着する者は色におぼれる、迷へば正しく物を見ることができなくなる、慧能は言下に大悟し、ありとあらゆるもの自性を離れたものはないと言つた。自性とは相對差別のない君僕のない自らの本性で唯一絕對なものである、一言に言へば生れたばかりの赤ん坊の心である清淨そのもの自己本來の眞面目である、天地一枚の大自然大宇宙のそのまゝな心である、惜しい欲しいの心の所、憎惡二相のない所には生もなければ滅もない、この清淨なる自性は今まで遠い世界のものと思つてゐたが、何ぞ計らん、悟つて見れば最も手近な自分の中に嚴然として存在してゐたのである、自性本來の眞面目を摑み得たからには、雨も降れ、風も吹け、いさかの搖ぎ無し、雨で曇る光でもなければ風で消える光明でもない、人生の不幸や災害位で貧乏ゆるぎもせぬ大盤石の自性である。

△

五祖大師は慧能がよくその自性を悟る事ができたのを見て『本心を知らねば法を學ぶとも無益である若し自らの本心を知り本性を見れば則ち丈夫、天人師、佛と名づける』と云つて其夜免許皆傳の式をあげられた『さあお前を第六代の祖とするから、よく自ら護念し廣く衆生を濟度して法を後生に傳へて斷絕せぬやうに心がけよ、今自分が語を示すからよくきけよ』と云つて一つの語を示された。

『有情來つて種を下す
地に因つて果還つて生ず
無情既に種なし

△

吾等は對立の世界を超越した見地である、對立的のものは一切これ影である寫眞である、本物の世界にはそんなものは一つもないと一切を越えてゐる。まことに眞の宗敎に入つた心境である、そして『本來無一物』の消息を語るに金剛經の『まさに住する所無うして』の語を以てしてゐるのは必ずどこかに執著してゐる、それを離れよとの提示である、眞にどこにも執著せざる心境に到達するならば、既に、それは對立の世界にゐるものでない。

△

濁を去りて清にと云ふゆきかたであるといへる。

然るに、後者は本來無一物、何れの處にか塵埃あらんといふ、即ち清濁、美醜を超越した見地である、對立的のものは一切これ影である寫眞である、本物の世界にはそんなものは一つもないと一切を越えてゐる。まことに眞の宗敎に入つた心境である、そして『本來無一物』の消息を語るに金剛經の『まさに住する所無うして』の語を以てしてゐるのは必ずどこかに執著してゐる、それを離れよとの提示である、眞にどこにも執著せざる心境に到達するならば、既に、それは對立の世界にゐるものでない。

△

我々が遠く祖國を離れてたま〳〵國歌君が代を奉唱し或は聽き、またはサントス入港の日本船の檣上高く翩々として飜る日章旗を仰ぎたる刹那の感激こそ實に日本民族の生命である、海ゆかば水づくかばね、山ゆかば草むすかばね、大君の邊にこそ死なめかへりみはせじ、吾等は渾身赤誠一死奉公を念ずるの外に何ものもない、西行法師（鳥羽上皇につかへし北面の武士佐藤義清廿三歲にして感ずる所あつて出家）は伊勢の大廟に詣で感極まつて泣き、

何ごとのおはしますかは知らねどもかたじけなさに涙こぼる、

と詠嘆されたと聞く、何事のおはしますかは知らずして、たゞ有りがたさ涙が眼ににじむ、こゝに眞の生命がある訾き血汐が流れてゐる

何ごとのおはしますかを知つて、而して有りがたさを知るにあらざれば價値が無いといふ人がある、そういふ主知主義や功利主義は吾等日本民族の名に於て斷然排擊せねばならぬ。

よもやま話

今週話題

昂揚された國家主義

【東京特報】全國帝大、官公私立大並に高專校二百十一校の學內團體調査を行つたが、過日國家主義團體の團體調査を完了した之によると團體總數は二百六、團體人員總數は三萬二千人に上つて居る、學校別に見ると

△帝大二三八官立大一二私立大七四△高校三二其他六三

で昨年に於ける團體總數一二三に比較すると二倍近くの激增振りで現世相と之に伴ふ學生の思想傾向を如實に示して居る、之れを種目別に見ると左の如くである

▽日本精神の把握、顯現を目的とするもの七八（大學四七、高校一八、他一三）

▽國防研究を目的とするもの四九（大學二五、高校三他二一）

▽大陸の調査研究を目的とするもの七九（大學三九高校一一他二九）

◇——◇

某國大使と女スパイ

【上海發】國際スパイとして第八路軍に從軍し閨の世界に暗躍したカナダ生れの美貌の一看護婦と援蔣某大使○○○○○の秘められた純情戀愛物語りが、この程圖らずも白日の下にさらけ出されて世人の注目を集めて居る。

去月九日上海出帆のエンプレス・オブ・ジャパン號の三〇三號室に人目を避けて乘船、日本經由でバンクーバーに赴いた美貌の一米國婦人があつたが、同船が横濱を出帆して數日後、さきの婦人こそは援蔣某國大使の戀慕を一身にあつめながら、今次支那事變勃發當初、北京より秘かに來たり第八路軍に從軍、赤十字のかげにかくれて國際スパイとして暗躍したカナダ籍の看護婦で、ジーン・イウエン（二八）嬢、當局へ申請した旅行目的には、醫療器ならびに藥劑購入となつて居るが、實際は米國で多量の武器を購入、ラングーンを經て重慶に送られ、支那軍第一線に配給すると云ふ計劃がたてられて居たもので同嬢は上海在住中は共同租界威海衛路ヤング・テーラス內共產黨クラブに住み込み、國際スパイとして暗躍するかたはら、某國大使と逢ふ瀨を樂しんで居た、このため國大使と現夫人との間には別れ話しまで持ち上つた程であつた、彼女はカナダの共產黨の大立物を父に持ち、女學校卒業後看護婦となり、二十歲の時單身渡支、さきに長家口で我が出先當局の取調べをうけた英國特務機關長スペアーの秘書として暗躍したこともあり、今次事變勃發と同時に入込み、其美貌と天性の理智と奔放な所作を持つて國際都市上海を舞臺に暗躍したものであつた。

◇——◇

區會議員の屠屋さん

【東京特信】品川區南品川の大塚實君（三十四歲）は區會議員で本職は屠屋さん事變發生以來出征者の遺家族や、惠まれぬ人達のために獻身的に奉仕して居る城南裏町の名物男であるが、大塚君は語る『私は父を知りません、母一人、子一人で高等小學校を出るまでは新聞の配達をして居りました、その後數年して品川の東洋製藥の職工となり、十四年目に社大黨から立候補して當選しました、町の人たちの心からの寄附金で、選擧費が出たのですが、母は當選の喜びを見ずに、その直前病死し、會社からは解雇されました、明日の飯會業とが兩立する、しかも資本の要らぬ職業——屠屋をゑらびました、最初の半年は恥しかつたが、これ程市民の生活狀態が如實に判かる商賣はないと云ふ確信を得るに從つて實に愉快になりました、お役所仕事の欠陷は中々市民と馴染めないと云ふ点にある、就後の警護中である。

◇——◇

米大使暗殺の陰謀

【上海發】汪精衛氏の支那新中央政權樹立迫れる折柄日本側の發表に依れば、重慶側刺客は米國大使ジョンソン氏を暗殺して米國の對日軍事的介入を陰謀すること既に二回に及ぶことを探知し日本軍は同大使を嚴重

カーザ東山
CASA TOZAN, LIMITADA

S. PAULO.....Rua Florencio de Abreu, 74-76
C. Postal 528 - Tel: 3-1141
SANTOS.....Praca Maua' 25 Cx. 911 - Tel. 2106
RIO DE JANEIRO.....Rua S. Pedro, 63
C. Postal 3342 - Tel 23-4031
LINS.....Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
C. Postal 11 - Tel: 240
MARILIA.....Rua 9 de Julho, 1277
C. Postal 74 - Tel: 460
P. PRUDENTE.....R. Tenente Nicolau Maffe' 36
C. Postal 17 Tel. 300
PROMISSÃO.....Rua Julio Prestes, 1057
C. Postal 16 - Tel: 50
GUARANTAN.....Est. Guarantan N. O. B.
ALVARES MACHADO.....Est. Alvares Machado E. F. S.

東山銀行
CASA BANCARIA TOZAN, LTDA.
伯貨定期預金年六分
SANTOS - S. PAULO - LINS - MARILIA - P. PRUDENTE

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆鄕里送金
御鄕里への御送金は送金人一人。受取人一人に付き毎月二コント迄許可せられます、送金特別稅五分（五%）は弊店への御送金額中より差引き申受けます。
鄕里送金爲替は爲替管理法上、特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の爲替取引相場とは關係のない別個のものであることを御承知置き御願申上げます。

◆伯貨預金
定期預金 半年以上 年三分半
特別當座預金 年二分
外に當座預金（小切手）も御預り致しますが、日本貨預金は御取扱ひ致しません。

横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

聖市 南米新報社
電七一一六二四

求人
日本にて多少教育を受けたる獨身者にて葡語を解し、日本人としての思想堅實、本社の事業に興味を有するもの事務員として採用し度し、但し市內に確實なる保證人を要す。
希望者は履歷書携帶豫め電話にて時間打合せの上來談ありたし。

Pag. de litteratura　學藝欄

純粹日本文學の精神

最高峰に立つ上代の人々

（廿七）

瀧澤馬琴

寛政三奇士の一人、蒲生君平は瀧澤馬琴と親交があつた。馬琴は君平を傳して『蒲の花がたけ』を書いてゐる。君平が山陵調査の爲め京都に赴いた時、知人とてもないので、歌人の小澤蘆庵をおとづれた。蘆庵は歌壇の一方に聳立した人、江戸の賀茂眞淵と對抗して京都の歌界を守り、眞淵の舊派攻擊に對しては、舊派の牙城たる京都において、舊派の保守的觀念を漸次革新的方面に轉じさせようと努めたのであつて自然、眞淵とは相反する立場に立つてゐた。此の蘆庵の影響を受けて、その說を一層敷衍徹底せしめ、新しい自己の革新說を作り上げるとともに、江戸の眞淵門流に對しはげしく反抗したのが香川景樹であつた。

◇

かういふ文學史上の位置にある蘆庵を君平は訪れてその家に寄寓し、山陵調査の業を、十分に遂行することが出來たのである。君平は、終日古陵を調査して、日が暮れて歸るのが常であつた。然るに蘆庵は、君平の勞を醫す爲めに自ら風呂をたいて、君平に入浴をすゝめたのであつた。もとより君平は、心苦しさのあまり懇切に斷つたが、蘆庵は『これらの事は、ひたすらに客を愛する故のみならず、吾も亦かゝる奇人に宿する事の歡ばしさに、足下の疲勞を慰めて羨なかれと思ふよしは、國の爲めに力をつくす人の助にならんとてなり、必ず辭退し給ふな』と云つて、これを繼續した。

◇

ある日、深更に君平が歸つて來たので、蘆庵は夜遊びをすると誤解して、君平を誡める所があつた、所が君平はこれを聞いて形をたゞし、その日、等持院の尊氏の墓の前を通つたので『年來の恨心頭に起りて墻へられず、墓に向ふて罵るやう、梟臣尊氏なほ靈あらば今いふ事を慥に聞け。汝は一旦治まりたる建武重祚の世を亂して、逆に取り逆に守りし毒を後世に流せしより、二百十數年干戈治まらず、國の舊典もこれが爲めに燒け亡び、王室も亦これによりて卑しく、古帝世々の山陵すら迹なくなりて、吾等にさへ飽くまで物を思はするは、皆悉く汝が罪なり、天罰まさに知るべし』と云つて、杖で石塔を思ひのまゝに打ちたりき、歸途興奮のあまり酒を飲んだが蘆庵に叱られることを憚つて酒の醉をさますうちに、夜が更けたのであると辯解して陳謝した。蘆庵はこれを聞いて、自分も同樣の經驗があるとて、江戸時代初における歌壇の異端者木下長嘯子の墓を罵つて打つたことがあると語り、兩人ともに大笑した。

◇

以上は、馬琴の記した所によつたのであるが、此の馬琴の筆によつて、右のやうな兩人の逸話が、それぞれの性格を現すものとして世に傳へられることを得たのである。さうして、舊派の系統を引く蘆庵が、新しく自由な歌を作つた長嘯子を罵つたのは、故あることであるが、君平の行爲に至つては、それよりも以上に重大な意味がある、青年客氣の徒の行爲とは違ひ山陵調査に一生の精魂を打ち込んだ君平にして、はじめて此の行爲は意義を生じるのである。さうして、更に、此の君平の行爲を筆によつて傳へた馬琴の物語ほ、馬琴自身の思想を表明するものとして、意味を持つことにもなるのである。『修靜（君平の號）特に强飲酩酊劇談放言して讓らず。その體たらく傍若無人に似るといへども、方正硬直の性、言外にあらはれて、國を憂ふ心一日半時も挽むことなし』と賞揚して、君平の眞精神に觸れる所があつた馬琴なのである。

◇

尤も、馬琴を目して、勤皇思想家、その明確なる目標のもとにある作家であるといふのではない。たゞ社交嫌ひで、つきあひの惡かつた馬琴が、君平とかやうに交際があつたといふ事實と、その君平の憂國の至情と行動とに共鳴し少くとも同情の禁ずる能はぬものがあつたといふところに、大明時代から文化文政、乃至天保時代にかけて輩出した作家と異る彼の精神を見ることが出來るのである。

◇

里見八犬傳は、わが國最大の小說である。その他の馬琴の作品を見れば、いづれも長大の作で、特に大小の作品を無數に執筆してゐる彼に作品の量を以てしても、前後に匹敵を見ない精力的な大作家である。そして、その內容に至つては時代の大勢に影響され、順應したものであるとしてもとにかく、勸善懲惡主義といふ一つの思想傾向を明かにし、且その精神の具體化することに終始かはらぬ努力を拂ひ、加ふるに結構布置の妙の、群小作家が企圖すべからざる變化と統一を意思的精力的な、此の巨豪は、わが國の作家としてはめづらしい存在であるが故に、むしろ、民族文學の一英雄たり得るのである。

わが國の作家の多くが、弱々しい感性的傾向の作品を創作するごとく思はれてゐる中にあつて、ひとり馬琴のみは、意力的な作家であス、といふ感を與へる。保つ點において絕入な質をその量の上にかね備へるものであつた。

◇

失地回復は口實

行動の底に流れるは侵略と野望の合理化

獨ソ戰の合理化

獨波戰爭に參加して、ポーランドの大半を及に蹂らすして獲得したソ聯ロシアは、其後急激な擡頭をみせて、バルチック三國に强壓を加へ、今や更にフインランドをその手に收めやうとしてゐる。フインランドは小國たりと云へど、その沼澤池による自然の防備を利用して可成り頑强に抵抗を試みて居り、その意氣まさに壯とすべきものがある。しかし、その意氣は壯とすべきだが、實際問題として孤立無援のフインランドがソ聯の强壓を防ぎ止めることは困難と見るべきだが、今後の推移は必ずしもしからず、フインランドは第二のスペインたらんとしてゐる。

△

しかし若しフインランドに於ける工作を成し遂げ得ば、バルチック海沿岸地方をその傘下に收め、レニングラードへの北歐諸國地方からの安全性と防備感を得るソ聯の今後の侵略的進路はどこかと云ふことが問題となつてくる。

△

一般的な見解としてそれは必ずバルカン方面の特殊な地域即ちベッサラビア及びトランスコーカサスの露土國境に近いカルス地方とであらうと云はれてゐる。

△

ソ聯當局は自國民に向つてソ聯の今次これ等の軍事的侵略行動は舊帝制ロシア領土の失地回復の爲めのものに外ならないと糊塗してゐる。モロートフ外相の獨ソ不可侵條約締結の根本問題に關する聲明にはこのことに關して、ドイツがベルサイユ體制の鐵鎖を破壞せねばならぬと同樣にソ聯も前大戰によつて蒙つたロシアのベルサイユ的嚴罰を破らねばならぬ云々と云ふ意味のことを云つてゐる。ソ聯の斯く辯明は明らかにその侵略主義を合理化し、他國をも自國民をも欺く欺瞞策である。あたかも全體主義國家と軌を一つにするものである。

△

ベッサラビアは現在ルーマニア國の北方の一州となつてゐるが、荒涼たる一握りの荒蕪地に過ぎない、人種的には三割のロシア人各少數のブルガリア人、ドイツ人、ウクライナ人、タッタン人である。一九一八年前大戰の末期帝制ロシアが崩壞すると共に自治共和國となつたが、ルーマニアがその混亂に乘じて併合してしまつた。

△

從つて、ソ聯の失地回復ベルサイユ體制破壞の當面の侵略行動から判斷すれば、常識的には次の進路は先づベッサラビヤにあると云ふ。ベッサラビヤにおいて、ソ聯の失地回復の侵略行動から判斷すれば、それはソ聯が周圍の各國を侵蝕して大帝國を建設しておいて、その後に於て彼の興手であるところの世界革命を遂行せんとする陰謀的行動と見るべきである。例へばそれはソ聯が大戰勃發と共に一方にドイツと結びながら他方ドイツの敵國たるべきイギリスとも手を握り通商條約を締結したことにもうかがはれる。即ちソ聯の腹としては、依然として歐洲の二大勢力を長期に亘つて戰はしめ、その疲弊に乘じて自己の年來の野望を達成しやうと云ふ事にあることは明白である。

△

大體今次大戰を機會としてソ聯の飽くなき侵略振りは、表面上はベルサイユに依る舊帝政領土の失地回復と云ふことになつてゐるがそれはソ聯が周圍の各國を侵蝕して大帝國を建設しておいて、その後に於て彼の興手であるところの世界革命を遂行せんとする陰謀的行動と見るべきである。例へばそれはソ聯が大戰勃發と共に一方にドイツと結びながら他方ドイツの敵國たるべきイギリスとも手を握り通商條約を締結したことにもうかがはれる。即ちソ聯の腹としては、依然として歐洲の二大勢力を長期に亘つて戰はしめ、その疲弊に乘じて自己の年來の野望を達成しやうと云ふ事にあることは明白である。

△

若問、大戰勃發以來、防共協定破棄と共に日獨伊ソ四國同盟、乃至日ソ提携說が流布されてゐる。しかし我々は、日本は常にソ聯の野望である世界革命政策、共產主義革命の根本方針を忘れてはならず、四國同盟說等々の說く目前の利のみにまどなされてはならない。これは要するにソ聯の失地回復を名とする進出が常に此の野望の爲めの準備行動であること、而して我々はその底を流れる彼が眞意を常に考へねばならない。

尙他方ドイツ十萬の職工軍はコーカサス地方に向ひ同方面に於てソ軍を援助し、國境の防備强化作業に從事しつゝあり、これはスターリンの依囑によりジーグフリード要塞線を築造したドイツのトッド博士によりソ聯國境を西部戰線の如く防備の强化を計ることゝなつたものである。云ふ。

尙イギリスでは本年末迄には二百五十萬の陸兵を佛軍陣地に送ると稱せられるがこれは夫月新徵兵令の發布により廿歲から廿八歲迄を徵集するが爲めであると言はれてゐる。

△

我々在伯同胞は日本民族海外發展の先驅者即ち一種の民族的使命を荷つて故國を飛び出して來た積りである日本に於ても國民の指導的立場に在る人ならば必ずやそうした理想の下に國民海外移住を奬勵してゐる筈である。然るに去月（一月）日本の明倫會から發行された雜誌明倫を讀むとその第二十五頁「政黨甦生未し」の記事中にこんな事が書いてある。

この頃、貴衆兩院の有志が集つて『事變對策研究會』といふものを結成するといふことが、新聞に報道せられてあつた。その譯は、近く支那の中央政權が生れるので、官民一體となつて對支具體方針を研究するのだと、ある。どうでせう、支那事變が始まつてから、もう三年になる。有史以來の大國難であるといふのでは既に全國民が總が、一體り事變處理に當つて居ることは周知の事實だ。然るに今頃

南米かハワイの出稼人が何十年振りかに歸國して『こりや日本人である以上幾分の御奉公をせにやならぬ。それには先づ以つて、支那事變とはどんなものか、一つ研究して見なければならぬ』と言つた式の研究會云々と書いてゐる、筆者は伊丹松雄と云ふ人、たしか陸軍の高官である。

▽……△

今更說明するまでもなく日本の明倫會と云へばその人格の高潔なる識見の高きを以て常に吾等が敬慕する田中國重大將を總裁と爲し國策指導を以て任とする有力なる團体で、殊に伯國には因緣淺からぬ堀口元駐伯公使をも幹部の一員として居る會なのである、然も斯かる人々の機關誌にかうした暴言（南米在住同胞から觀れば確に暴言である）を記事の中に散見するとは實に心外に堪へぬ、我日本族民世界發展の先驅者を愚弄するも甚だしい、此筆者は在南米同胞を出稼人と嘲り祖國に對する奉公心の有無を疑つて居るのだ。そればかりでなく時局に對する認識すら有せざるもの、如くたゞ此處にソ聯のバルカン進出に關して生する一つの問題がある。それは、バルカンと近東の問題に關しては先づ第一にドイツ勢力との衝突である。次にソ聯がバルカンへ深く進出されば、それは當然イタリイとの問題を生起せしめるし、英佛との利害と正面衝突することの勿論である。しかしソ聯としては、恐らくベッサラビヤは放置しておく筈はなく、遠からずルーマニアとの間に此地をめぐる問題が惹起されるだらう。

△

近來日本の識者の中にはこの樣に四方八方に進出路を求めるソ聯に對して、所謂南下政策、即ち極東日本を逃れて西に延び、北歐諸地方を回復し、バルカンへその進出路を求むるに外なしソ聯にイラン、アフガニスタン方面よりペルシヤ灣方面へ彼をして出すべしと云ふ論が聞かれるのである。しかしソ聯のこの尨大な地域と人口を擁しての飽くなき帝國主義的進出は大きくなればなる程いつか遠からず飽和點に達し、必ず內部から崩壞すること火を見るより明らかである。

四方八方に求める蘇聯の進出路

遂に衝突は不可避

バルカン進出に關して生する一つの問題

昔の詩人が詠じたやうに、支那の村落は兵火の爲めに毀されて仕舞ひ、只だ白壁が殘つて居て、其れに夕陽が一杯あたつて居るが實に傷心慘目せしめられるそして此處の所感として次の一句を得た。

『夏草や兵士共の血が滲む』

此處に居る將兵は殆ど飲まず食はずで働いて居る、斯うと云ふと如何にも大袈裟に聞ゆるかも知れぬが、事實目前に清水があつても、それを一滴と雖も生で飲む事が出來ないのだ、それは其中に毒が投込んであゝ惧れ易いからであり、それで予が將兵に向つて『何か一番欲しいか』と聞いたら『內地の水道に口をつけて腹一杯飲みたい』と云つた、其他、生野菜、果物等は絕對に禁じられて居るから、之を目前に見ながら、食ふ事が出來ないと云ふ狀態である、斯云ふ困苦缺乏を忍び或は今最も盛なる地方病即ちマラリヤ、コレラ、チブス、脚氣等の惡疫と戰ひ、或は所謂雀落の灼熱即ち屋根や電線にとまつて居る雀が繞け落つるが如き極暑と戰つて、我が將兵は只だ陛下の爲め御國の爲めを思ふて、默々として軍務に服して居るのである、或日予が戰線を視察して居ると、遙か前方の水田中にテカ〳〵光る眞黑なものが動いて居る、何だらうかと近寄つて見ると、それが警備兵であつた、それは余り暑い爲めに、普通の汗どころか全身に脂汗をかき、其れが黑光りに光つて居るのであつた、それは恰も印度人が印度の暑さの爲に皆黑ん坊になつて居るが如く、此の方面の將兵に皆黑ん坊のやうになつて居るのを見た、予は思はず頭がさがつた、そして內地に歸つて來て我が上下の不緊張不謹愼極まる有樣を目擊した時、斯んな事では駄目だ、これでは東亞新秩序所か、先づ第一に日本自身が滅亡して仕舞ふ、と、義憤せざるを得なかつた。

◇

次に之はかの漢口一番乘りをした稻葉部隊長から直接聞いた事だが、稻葉部隊は其南京を攻略してからは息付く暇も無く漢口に突進した、此時の我が將兵の意氣は正に天に冲して、將校は勿論の事、一兵士と雖も第一部隊は固より、後方部隊と雖も、身體の健全な者は言はずもがな、或は疲勞し、或は負傷し、或は病魔に侵されてヨロ〳〵して居る者迄が、只管漢口へ〳〵と叫んで、全軍一致して、怒濤の如く漢口へ押寄せたのであつた、其の概や實に物凄いものであつたと云ふ、斯の精神が南京は勿論漢口をも屠つたのである

◇

所で斯ういふ忠勇なる部下を統率する部隊長には、往々筆舌に盡し難き苦衷の存するものである、一體人の長となる者には不動の信念と斷乎たる決意が無ければならぬ、そして一旦決意し、一度命令を下した以上は、如何なる困難障礙に會はうとも、斷じて其れを變へてはならない、殊に戰爭に於て然りである。

輕蔑して居るのである。

勿論、こんなに莫迦にされても口も開かれない似而非日本人も全然無いとは云はぬ。が、一と口に我々を出稼人と呼び恰も祖國の難に無關心なる非國民の如き愚弄の暴言を吐きかけられても、猶且つ御說御もつともだとして在伯廿萬同胞は默つて引つ込んで居らなければならぬか？敢て天下の輿論に問ふ！

此頃噂によると我等の病院日本病院では日本から呼んだ二名の看護婦が無斷欠勤するやら、つい先日殼を破つたばかりの伯國製看護婦までが生意氣になつて病院の統制がとれてゐないと云ふでもありませんか、勿論其の間に處する主腦者の御苦心は充分お察し致しますが、看護婦までが生意氣になり地方から出た患者のなり振りを見て輕蔑したり、入院患者に不親切で、食事の時間すら規則正しくされないやうでは仕樣がありません。

○――○

聞く所によると日本病院の不渡手形が四百コントスやらあると云ふではありませんか、つまる所我々在伯同胞の力で何んとか善後策を講じてゆかねばならぬ所謂我等の病院なれば、もつとシッカリしたそして親切な病院であつて欲しい。

日本病院のみならず何處でも日本人の仕事にチトおカミの息がかゝると（それがおなさけの助成金でも）スグ官僚式になりたがつて百姓にお高くとまつていけませんな、併しブラ拓やコチヤ產組ならいざ知らず、たださへ病氣で氣を病んでゐるビク〳〵の病人を取扱ふ病院で刎突くを喰つたり、一日物事を尋ねるにも鼻息を窺はなくてはならぬようで、どぎやんしましやう。

勃然な惡い空氣を速に淨化して日本病院と云へば朋らかで、何びとにも親切でそして規律の正しい良い病院だ、と云ふ印象を內外人に與へるやうにして戴きたい此点何事も卒直であるとの好評ある八木博士や眞面目そのもの、福川氏ら一段の努力を切望して止まない、即ち南米新報の言をかりて云へば『八方不美人主義』を徹底させることでせう『八方美人主義』では決して淨化改革も出來ませんから市內一心配生

今次歐洲戰の特質を見る

今次大戰が從來のそれと異る諸形態を生んで、今次大戰の特質を形造つてゐるが、その根底にはソ聯と結んだドイツもイギリスも常に、このソ聯の野望を考慮に入れて國力の最小限に止まる消耗戰を爲してゐる事が推察し得る。殊に、高度に發達した航空戰を比較的避けて、ドイツ等專ら潛水艦その他による海上からの經濟封鎖戰、潛水艦戰術に終始してゐるなど確にソ聯の力、る野望を考慮しての特質と見るべきである。

△

共協定破棄と共に日獨伊ソ四國同盟、乃至日ソ提携說が流布されてゐる。しかし我々は、日本は常にソ聯の野望である世界革命政策、共產主義革命の根本方針を忘れてはならず、四國同盟說等々の說く目前の利のみにまどなされてはならない。これは要するにソ聯の失地回復を名とする進出が常に此の野望の爲めの準備行動であること、而して我々はその底を流れる彼が眞意を常に考へねばならない。

尙他方ドイツ十萬の職工軍はコーカサス地方に向ひ同方面に於てソ軍を援助し、國境の防備强化作業に從事しつゝあり、これはスターリンの依囑によりジーグフリード要塞線を築造したドイツのトッド博士によりソ聯國境を西部戰線の如く防備の强化を計ることゝなつたものである。云ふ。

尙イギリスでは本年末迄には二百五十萬の陸兵を佛軍陣地に送ると稱せられるがこれは夫月新徵兵令の發布により廿歲から廿八歲迄を徵集するが爲めであると言はれてゐる。

△

我々在伯同胞は日本民族海外發展の先驅者即ち一種の民族的使命を荷つて故國を飛び出して來た積りである日本に於ても國民の指導的立場に在る人ならば必ずやそうした理想の下に國民海外移住を奬勵してゐる筆である。然るに去月（一月）日本の明倫會から發行された雜誌明倫を讀むとその第二十五頁「政黨甦生未し」の記事中にこんな事が書いてある。

この頃、貴衆兩院の有志が集つて『事變對策研究會』といふものを結成するといふことが、新聞に報道せられてあつた。その譯は、近く支那の中央政權が生れるので、官民一體となつて對支具體方針を研究するのだと、ある。どうでせう、支那事變が始まつてから、もう三年になる。有史以來の大國難であるといふのでは既に全國民が總が、一體り事變處理に當つて居ることは周知の事實だ。然るに今頃

南米かハワイの出稼人が何十年振りかに歸國して『こりや日本人である以上幾分の御奉公をせにやならぬ。それには先づ以つて、支那事變とはどんなものか、一つ研究して見なければならぬ』と言つた式の研究會云々と書いてゐる、筆者は伊丹松雄と云ふ人、たしか陸軍の高官である。

▽……△

今更說明するまでもなく日本の明倫會と云へばその人格の高潔なる識見の高きを以て常に吾等が敬慕する田中國重大將を總裁と爲し國策指導を以て任とする有力なる團体で、殊に伯國には因緣淺からぬ堀口元駐伯公使をも幹部の一員として居る會なのである、然も斯かる人々の機關誌にかうした暴言（南米在住同胞から觀れば確に暴言である）を記事の中に散見するとは實に心外に堪へぬ、我日本族民世界發展の先驅者を愚弄するも甚だしい、此筆者は在南米同胞を出稼人と嘲り祖國に對する奉公心の有無を疑つて居るのだ。そればかりでなく時局に對する認識すら有せざるもの、如くたゞ此處にソ聯のバルカン進出に關して生する一つの問題がある。それは、バルカンと近東の問題に關しては先づ第一にドイツ勢力との衝突である。次にソ聯がバルカンへ深く進出されば、それは當然イタリイとの問題を生起せしめるし、英佛との利害と正面衝突することの勿論である。しかしソ聯としては、恐らくベッサラビヤは放置しておく筈はなく、遠からずルーマニアとの間に此地をめぐる問題が惹起されるだらう。

△

近來日本の識者の中にはこの樣に四方八方に進出路を求めるソ聯に對して、所謂南下政策、即ち極東日本を逃れて西に延び、北歐諸地方を回復し、バルカンへその進出路を求むるに外なしソ聯にイラン、アフガニスタン方面よりペルシヤ灣方面へ彼をして出すべしと云ふ論が聞かれるのである。しかしソ聯のこの尨大な地域と人口を擁しての飽くなき帝國主義的進出は大きくなればなる程いつか遠からず飽和點に達し、必ず內部から崩壞すること火を見るより明らかである。

△

若問、大戰勃發以來、防

暢氣のやうで哀れな敗戰國の人々

西湖の柳の下で聽いた鶯

(PAGINA DE NOTICIAS DIVERSAS)

△

勝つて來るぞと勇ましく誓つて國を出たからは、手柄たてずに死なれうか……十人ばかり、子供が集まつてほがらかに唄つてゐる、なか〳〵調子もよい、どこで誰から習つたのか、子供は罪もなく可愛らしいものゼあるゐんな、はだしで、顔やら、足やら、わからぬほどよごれて男女の區別もつかない半裸体の子供たちが、石を敷きつめた小路で兵隊ごつこをしてゐる、うつかりしてゐると日本の裏町の風景をつくりである、これが中華第一の景色をほこる杭州西湖のほとりで、毎日くり返へされる子供風景である、お錢を呉れたらなんぼでも歌ふからと云つて兵隊にがや〳〵たかつて來る顔だちのよい娘の子、指の六本ある子供、三ツ口の子カサだらけの子等の混成軍である、勿論歌詞の意味を知つて唄ふのでもなければ兵隊に聞かすためでもない、たゞ日本の歌であると云ふだけ知つてゐる、二、三年生以上の子供になると、錢をかけてピョンをまわすアメリカの子供のやるゲームを遊んでゐる、學校と戰爭も何もかも忘れて、たゞ遊ぶことだけが彼らの唯一のたのしみである、兵隊さんを見さへすれば、キャラメルや、氷砂糖をシンジョウー〳〵と云つてたかつて來る タバコの吸がらを拾つてスパ〳〵一人前にうまそうに吹かす子供が多い。

△

戰爭中はどこに避難してゐたことやら！わが軍入城の時には不具にも近き老人となよ〳〵として歩行にさへも耐へられぬ纏足の老婆と子供ばかりである、陷落、警備、官撫工作、和平建設ともなれば、シラミだらけの纏足の女は街から驅逐されて、ハイヒールにワンピース、ドレスに、三民主義とかの青い木綿のコートを着た、ヤング、ガールスが交代して城内へ城内へとなだれて來る、今さら戰爭の善惡は問題でない、石にかぢりついても戰に負けてはいけない、一寸の土地たりとも敵に侵略されてはならない、今頃は安來節も上手になれば、八木節さへも、上海の花賣娘の流行歌もうまくなつたであらう、盲目の女が胡弓に合せて『煙も見えず雲もなく』の日清戰爭の軍歌をうたつて、茶館や、飯店を流してゐる情景は、詩人ならずとも、國亡びて山河ありとか、遊ぶ子悲しとか、忘れた支那の詩人の心にふれたやうである。

優秀な藝妓を養成するためには、子供市場に行つて顔だちのよさそうな女の子を買つて來て、針か、ある種の藥品か、それは知らないが、彼女の視界を人爲的に皆無となし、音樂家に必要な聽覺、觸覺、聲帶の極度な發達を遂げさせるとか云はれてゐる、勿論付添人が彼女を連れて歩くのである、のこりの飯や、米をあたへて、太湖船の歌や、支那の悲痛な泣くやうな組をさくやうな例の歌を唄はせたものだ、彼女は蘇州生れで十九才だと付添人は路上に書いて知らせた、今でもふしぎな聖可憐で美しい彼女が、遊ぶ子の胸の中に秘められてゐる。

若しも出來たなら彼女の手をとり西湖の柳の下で鶯の聲を聞き、南屏の晩鐘を聞いたであろう。策談をすることもできないし無論思ひを明かす言葉も知らぬ。

五ツ六ツの女の子がママディラを愛する氣持ちこそ斯くやありなむ。

（西湖より）

重尊權人

搜査中の事件被疑者には公判迄氏名は嚴秘

刑事々件の取扱を改善

【東京特信】刑事々件の人權尊重に處する爲めの司法省の司法制度調査會は舊臘、改善策の一つを答申案として取纏めたが、そのうちに『搜査中の事件被疑者氏名住所、職業等を察知すべき事項の發表を禁止し、漏洩者に對する罰則を設ける事』の一項が見受けられ、之は容疑者氏名を公開の公判後でなければ明かにしないものであつて、現在の如く單なる嫌疑だけで警視廳や檢事局に召喚されたゞけで、宛然眞實の犯人の如き印象を與へる決定的な新聞記事を掲載する事を禁止するは勿論、檢事の起訴後、豫審の審理中と云へども、搜査中と名が付けられる限り一切氏名掲載を禁じ、公判に入つて被告自身も堂々自己の被疑事實に對して公開の席上、主張し得る機會に於てはじめて掲載を許される方針に改め樣とするものである。

此の方法は諸外國では英國等が既に採用して居り、若し我國も今後この方法となれば人權擁護上劃期的な進歩であつて現在の如く搜査中の事件を無制限に報道させる事は搜査を妨害するばかりではなく、召喚者は忽ち犯人視されて、假令公判に來てその眞實を陳述、主張しても單なる辯解に過ぎない樣に思はれ公判結果が無罪、青天白日の身となつても檢擧當時世人に與へた印象は容易に拭拂出來るものではなく折角公正な裁判が宣告した無罪も

日常の生活には何等の恩惠もなく一生日蔭者として送らねばならぬ事例も多いので、いやしくも搜査當局が多少の疑問を持つ間は容疑者氏名を新聞に掲載させる輕擧、大膽を自ら否定するもので、人權尊重の建前から一日も早く實現する事を各方面から要望されて居る。

乞食が姿を消す

現在東京市内で三百余名

【東京通信】興隆産業の求人によつて、街から失業者が姿を消し押賣等も激減したが、依然として浮浪者は哀れを乞ふて街頭から消えないので、警視廳保安部では、この際斷乎として取締ること、なり種々具体策を練つてゐたがいよ〳〵帝都から一掃することになり、近く厚生省、東京府、市の關係者を招き協議會を開くこと、なつた。

現在東京市内に浮浪者即ち乞食は三百余名居り、警視廳の取り締りの中を人の袖にすがつて居る狀態で、甲の警察が嚴重な場合は乙署の管内に座はり甲、乙、丙署の取締りが嚴重な場合は兩署の境界線の橋の上などにすはり込んで居ると云ふ有樣である今回は府、市の協力を得て三百余人の浮浪者をかり集め、勞働力のあるものは、直ちに衣類等を與へて就職を世話し、勞働に耐へ得ない者は方面委員で世話するか、あるひは救護所養老院に收容することになつたものである、協議會終了後直ちに實施に着手する方針です。

既報の如く大阪商船新造船ぶらじる丸は百九十八名の呼寄や再渡航者其他ピニスト井上園子番に投錨した滿艦飾を施した同船では豫定のプログラムに從ひ入港當日は正午より内外新聞記者を招き朝食を饗應し、夜はパーロス執政官を筆頭に内外多數の名士の臨船を仰ぎ盛大なレセプションを催したが、特に聖市ツピー放送局では實況を中繼放送し未だぶらじる丸の姿を見ざる幾萬の人々に、その雄姿を髣髴せしめ今更の如く

―ぶらじる丸―

大成功に披露會始終

を載せ廿四日リオよりサントスに入港アルマゼン十五

日本海運界や文化の偉大なる進歩を驚歎せしめた、レセプション席上パーロス州執政官は一場の祝辭を述べて之れを稱讃し日伯兩國の親善を強調する所あり、次電語に依る船長の挨拶更に村田商船社長より送れるメッセージの代讀、坂根總領事の祝詞等を以て芽出度乾盃したが、その間ピアニスト井上さんのピアノ彈奏があり何れの來賓も大滿悅の態で時の移るを忘れたかの觀があつた

綴いて翌廿五日は聖市より千五百余名の小學生の船内見物あり午後三時よりは聖市人を招待の

伊太利人アントニオ・ウゴブラツエル（四一）は昨年十二月サンパウロ風紀警察官から告發されてゐたが爾來其筋に於て嚴重取調べの結果、今回該警察官より聯邦司法大臣へ國外追放處分方を申請した

右アントニオは一九二〇年ボルサノから渡伯したなるが、定職無きにも拘らず常に紳士風を裝ひ或る時はエンチネイロと稱し又或る時は辯護士と詐稱し聖市にかけて善からぬ事を働いて居た曲者で、中にも僅か四十三ミルレース也の銀行小切手を手に入れ、大膽不敵にも二千百四十四コントス也の額面に變造し之れを種子に、ドトール・アドヴオガードの名刺を振り廻し

『自分は斯う云ふシエツキを持つて居るが銀行では余り大金なので、これだけの現金の持ち合せ無く未だに支拂つて呉れない』と如何にも眞としやかに吹聽して歩き、それを信用した正直者から若干の融通を（實は詐取）して居たが、ドトール・アドヴオガードと信じ切つて彼の甘言にマンマと乘つた賣笑婦の某々二人は此の手にかゝりカイシャエコノミカに貯金してあつた四コントスを引き出し借しも無く與へてゐた事までも發覺したものである。

自稱辯護士の正體

洗つて見れば曲者

資本は四十三ミルの小切手

伯國々勢調査

來九月一日

全國一齊に行はる

本年九月一日を期して富國内一齊に行はるべき國勢調査（商工農交通社會文化事業等の各部門にわたり）の爲め本月廿七日市内リベルダーデ街九二八番地に國勢調査地方局が新に設けられたが州内管區を左の十三區と爲し夫々調査事務を分轄管掌せしめると

聖市、サントス、タウバテー、カンピーナス、ソロカバ、リオグラロ、アララクアラ、ボツカツーリベロンプレート、アラサツーバ、バウルー、ゾレシヴンテプルデンテ

去月中聖市の死亡者數

千七百七十八人

去一月中聖市に於ける死亡者は一千七百七十六人であつたが死因に依つて之れを内譯すれば次の如くである

チブス七　肺患一六九
腦膜炎四　チブテリヤ四
梅毒四九　グリツペ二〇
サランボ八　發疹チブス

注目される其將來

加奈太名物五人娘

【承前】

去年の五月英國々王及び女王陛下に拜謁のためババとダウオー博士とに伴はれてトロント市へ赴いた時も涙を流さむ許りに『パパの車に乘せて下さい』とせがむだが許されなかつた、自宅に居れば彼等五人は他の兄弟姉妹と色々な新しいことを學ぶであらうが、五人の中のメリーは一番行儀がよく且つ唄が上手で一度聽いた唄は吃度覺へる、アネタはピアノが好き、踊りはセシルが五人の中で第一等であると云ふ、彼等はまた多藝で繪を描くが、この技術はヨーネーが傑出して居るとパパは話つた。

◇

幼稚園の勉强では孰れも成績は普通で、紙細工、繪本、お話などが大好きである、會話は佛語ではあるが英語はオーケーと、ウービー丈けを覺えて居る、自宅でも佛語を使用するけれ共パパは英語を知つて居り、ラヂオを通じて英語を學ぶ機會があらう、五人娘が若し早く英語を操るやうになれば、ハリウツドで金儲けのチヤンスはあるが、佛語では駄目だ。最近も五人が三分間ラヂオで英語を喋れば七千弗出すと商賈人から話し込んだことがあると云ふ彼等はまだ一回も打擲されたことがない、ダフオー博士もパパもママも打擲反對者であるから小學校へ通ふやうにならねば減多に叩かれる危險はない筈だ。

◇

五月に兩親の農園に送られても、五人娘に對する現在の財政的援助には何等の變更はない、彼等は見世物であつた、彼等の廣告及び映畫より得たる富は一人前十五万弗、總計七十五万弗と見積られて居る、千九百三十五年三月の一ケ月の費用は次の如くであるが、これはデフオー博士の月給二百十弗と、博士の秘書役モフワツト氏の百七十五弗、支配人マンロー氏の五百弗後見委員會の秘書役フラネリー氏と父親のデオネー氏に支拂つた三百弗は含まれて居ない、此合計一千三百三十五弗は別勘定となつて居る譯である、即ち

警衛者二〇〇弗、看護婦二一四弗、牧師一五〇弗、家庭整理人三五弗、補助役二五弗、雜役五〇弗、郵税文房具二〇弗六六仙、掃除人四弗、電燈事務所費六八弗六九仙、タイピスト二十弗、電話七三弗六五仙、ノール女史へ一一〇弗、ツレムブレイ女史へ一二〇弗、ウキルソンへ一九五弗六五仙、マンロー氏實費三〇弗四五仙、銀行爲替差金九弗七十二仙、暖房具買入三八弗八〇仙、品物買入五六弗二九仙、電話二弗九五仙、關税運賃等五二弗六七仙、肉、牛乳等食料費二四二弗、洗濯代四弗八五仙、契約繼續費一七弗五〇仙、パイロン師へ謝禮二〇弗、ラヂオ免許料一〇弗

以上の支出表は完全なものではないが、讀者に對して經費の月額大要を示すものである、彼等は現在デフオー病院を維持して居る。

これには州政費、法律家への報酬を合せて多額の經費を必要とする、一九三七年四月より八年三月三十一日までの一ケ年の總支出は五万五千二十四弗二十二仙に達した、その五年目即ち三八年四月より三九年三月末日間に彼等の收入は十四万七千九百〇九弗二十五仙で其内から五万一千二百三十三弗十仙を支拂つて居るのみならず、五人娘の收入の内から兄のアーネストとローズ及びテラサの兩人の姉との寄宿費を支拂ひ、前述の如く父親に毎月三百弗を支拂ひつゝあり、しかし彼等が父親の農園に歸つた後はデフオー博士への月給は引繼き支拂する契約であり、同博士は五人娘との關係を利用して博士自身のために如何なる契約をなすも自由である。

◇

而かも讀者の最も中心的興味は金の問題ではなくして、變態五人娘が果して、常態になつ行くか、開放された彼等の將來が如何に推移してゆく乎にある。

更らに最近のニウスに依れば、本年の萬國博覽會は參觀客吸引の一策として、オンタリオ州カランダアに於ける病院の摸造建築を博覽會場に設け五人娘を招聘して、其生活狀態を展示すべく、觀客にはよく見えるが當の五人娘の方では判らない仕掛けとする、而してこの入場料全部は加奈太赤十字社に寄附する筈で、場所は目下取り潰しつゝあるが蘇聯館跡を選定する由であるから、我が日本館に接近すべく、博覽會當局は五人娘を最大の客引き道具と考へて居るらしい。（終り）

三面記事の裏

本月廿四日午後、市内和歌山旅館から電話で

『實は貴今、宿屋荒しの迎も悪い奴を捕へてゐるのです、警察に突き出すのも邦人の恥だし、まかり、スツカリ白狀させて今後此奴に懲る人の無い樣に新聞に發表して頂き度いのですが』とのこと

△

右の記事は已に他紙にも掲載されたから、讀者は御承知だらうとは思ふが、兎に角、前後四ケ所つまり八州旅館をきつかけに、ペンソジヤボネーザ、太陽旅館と最後に和歌山旅館で發覺したのである、年の卅九才實際彼のヤリ口に對し旅館主達の腹立は尤もです、そして邦人の恥だからと警察に突出されなかつたのは全く皆さんのお情けですが、私は尚ほ一歩彼が此後救はれて眞人間になつて呉れ、ばとの老婆心から、皆さんにはどう採られるか知れませんが、實は私が上着も靴も本人に與へたので、第一、あの儘のみなりでは、假令本人が非を悟つて働かうと思つても雇つて呉れる人も勿論ありますまい、そして喰ふ物が無ければ、やがては强盜もしかねないでせう、そうなると之以上他人に迷惑かける事は誰にでも想像がつきます

久私には彼れを眞人間に導くだけの力はないと人は嘲笑するでせう、ですが幸に彼は只今のところサンベルナードの私がお賴みした方のところで眞面目に働いてゐるそうです、凡ては事實が解決して呉れます、それ迄は彼の代りに私は飽迄矢面に立つ考へです、と確信あり氣に話された。

△

讀者は右の顚末を讀まれて何んと考へられるか？新聞に報道せらるゝ社會面即ち三面記事の裏には一般讀者には豫想外の事實が醜惡なる社會への謎として寂しく苦笑してゐる、さばく者さばかれる者、打たる者打つ者と一見不俱戴天の敵の如き觀あれども、實は皆同胞、血を分けた仲の事である然も異境萬里の外に惡戰苦鬪し續けてゐる お互の間、記者は今更の如くユーゴーの『あゝ無情』中たまゝ〳〵盜みをしたジヤンバルジヤンと盜まれた一僧正の涙ぐましくも同胞愛に滿ちた温い一場面を想ひ起さずには居られなかつた。

これを書いた序に所謂三面記事の裏で寂しく苦笑しつゝ常に温い救の手を斯うした弱い人間の爲めに伸ばして居る新生社の竹村氏のこゝを附記して置きたい。竹村氏は長野縣の產、まだ春秋に富む人であるが、夙に熱心なキリスト教信者で信仰即ち生活にまで、身を以て徹底體現せんとて利害を超越して經營して居るその新生社に於ては、病弱の人には療養の面倒から宿泊の世話（一切無料で）或は仕事を與へるなど獻身的に世話をして居る在伯邦人中稀に見る任俠の士である。同胞廿萬を算するもまだ足れと云つた社會政策的施設を有たない今日、我々は斯うした『三面記事の裏』に動く特志家に對しては一層深甚な敬意を拂ひたい、恐らく心有る讀者も御同感であらうと思ふ。

社中日記

△二月廿七日　つい此頃日本から來た賀易曾旅所とやら云ふ所から電話かゝる曰く明日ホテル・エスプラナーダでフエスタをやるから來て呉れ、但し黑い服で……と、まだ招待狀すら持つても來ないのに來るなら黑裝束で出ろと豫告する、ヘンな電話だ、若しかしたら何處かの葬式の間違ひぢやないか知ら……と談り合ふ

△二月廿八日朝、昨日葬式の通知とも何んともつかぬヘンな電話をかけて來た所から再び電話だ曰く今夜ホテルでよんでやるから招待狀（御自分の）を取りに來いと愈々ヘンになつて來た『黑服を着て來い招待狀を取りに來い』だとき、併し我南米新報社は左樣なヘンな招待狀を態々こちらから頂戴に參上してまで、よばれ度いほどケチな根性は持たない わい。辭旋所と云へば最初から聖市の地元を喰つたやうな生意氣だとの定評だが、就中邦字新聞社と云へば時また廣告でも呉れてやれば何時でも默つて土下座する位に思つて居る樣だ

貸家

小家族向家屋にて、物干場には充分のキンタールあり

家賃格安

場所は左記

Av. Reboucas, 221-A
Chaves, 223

地方の邦人諸君に有り御計り　そこへ行く

新發賣！
（イカリ印ヤスリ）
二大特長
一、本品は特に精撰されたる材料を使用し理想的硬度を有す
一、本品は弊店の一手販賣にして特別廉價を以て販賣し得

8 pl. para enxada
8 pl. para serra engenho
9 pl. para serra engenho
9 pl. para serra engenho dois lado

リマ・ド・ブラジル會社特約一手販賣店
羽瀨商店
聖市　郵函2—A・電話2-1575

ファゼンダを安く讓る

サンパウロ市から百キロの地点で面積三百五十アルケケーレス余。ファセンダの大部分はバナネーラ、ラランジエーラ、ブドー樹、カフエザール其他色々な果樹あり。河岸の平原は霜害なく、バタヽ、トマテ、アロース、セボーラに適す、テーラマッサペの部分は棉作、マンジョカに好適なり、牧場は百五十アルケケーレスで家畜用の飲水は豐富なり。

價格四百コントスなるも談合の上にて如何樣にも極め、又サンパウロ市内の建築物と取替へても可なり。御照會は左記へ

Sr. Montalvão - R. Casemiro de Abreu, 392

歸伯御挨拶

謹啓　益々御多祥奉賀候

陳者小生客年九月八日戰時下の母國視察の爲めアルゼンチナ丸にて歸國留守中は各位の御厚情を忝ふし候段奉感謝候

就而一昨廿四日サントス入港のブラジル丸にて歸伯仕り候

早速參堂御挨拶可申上筈の處急務に取り紛れ候爲其の意を得ず不取敢以紙上『挨拶申上候　敬具

昭和十五年二月十六日　モンソン

平田滿

御通知

今回母國高野山本部の命に依り當支部會員子弟を收容寄宿させる目的で『平安寮』を開設し又地方會員出聖支部參詣の折の止宿慰安所として、寮内に『心の別莊』を併設致しましたから何卒御了知の上充分御利用下さい此段御通知申上げます。敬具

追而御申込み次第寮規定書送付致します

昭和十五年二月廿八日

高野山大師教會　伯國支部

聖市コンセレイロ・フルタード三二一

高野山大師教會伯國支部會員各位

Redação e Administração
R. Pires da Motta, 838
Tel: 7-1614

NAMBEI SHIMPO

(SEMANARIO SUL AMERICANO) Traducção dos artigos principaes

Diretor: J. V. França
Proprietario:
Y. Nakamura

FUNDADO EM 1928 | S. PAULO —QUINTA-FEIRA, 29 DE FEVEREIRO DE 1940 | SEMANARIO, No. B-275

O povo da nação vencido parece-nos expansivo e alegre, contudo tem-se a compaixão

Numa das estreitas ruas sem simetria alguma, calçadas de pedras irregulares onde ostenta, inconfundiveis, caracteristicos, da arte chinesa, esta localidade é um dos arredores de "SEIKO"; uma cidade da provincia de "KOSHU", que se distingue pelos seus encantos naturaes, onde um grupo de meninos agasalhados em roupas agastadas, simulando a vida militar, cantando a marcha do exercito japonês. Inocentes incapazes de encarar a vida com seriedade, vagueam-se e vivem-se da caridade dos viajantes e soldados niponicos, são sobretudo comunicativos sabendo-se da aproximação dos soldados niponicos acercam dos mesmos os anomalos, de seis dedos, de duas bocas, meninas belas mas muito humildes, todos indistintamente pedem num tom comovente, a troca de algumas canções ou mesmo umas marchas militares niponicas que apreenderam.

Cantam sem entender a significação nem tão pouco com interesse de que auditorio ouça, apenas sabe que está cantando as modinhas japonesas.

Os alunos de segundo e terceiroanista do grupo divertem-se dos jogos de pião, e sempre terminam apostando moedinhas como os meninos americanos "Yankees". Indiferentes a guerra, sofregos nos recreios, e soltam baforadas dos cigarros que por acaso encontram nas ruas, a estilo do homen adulto.

Maldita hora que soldados niponicos capturam as cidades, não se encontram nem um sinal de vida senão algumas velhas e crianças retardatarias esquecidas pela lufa-lufa de sairem a procura de refugios, mas é digno de nota, quando inceta a faze de reconstrução da cidade após ter reiterado a limpeza urbana, todos regressam em bandos em seus lares antigos, inclusive as jovens elegantes todas trajadas a moda francesa e americana.

Os habitantes são comunicativos pela natureza, parece ter latente na alma popular, o sentimento de amor a patria, e a necessidade da unidade nacional, a eles sobrepujam sobretudo o sentimento cosmopolitanos, dai, estão longe de pensar na guerra e nem se tem noticia de estar organizando sociedade para opor a força invasora. Os bairros e as aglomerações que estão sob a direção do dominio niponico, vão acentuando cada passo os caracteristicos japoneses, mormente a musica está em inteira voga.

"Vendedores de flôres" canções tradicionaes, marchas militares do tempo da guerra nipo-chinesa, estão no conhecimento de toda a troca de não serem monoprezadas, com a mocidade brasileira, as duas decadas passadas, eram considerados fora da roda, os que desconheciam os mais eximios romancistas mundiaes. Nos bares e restaurantes, estas canções orientaes eram acompanhados ao som do instrumento musical "KOKYUU".

Para o preparo das jovens cantoras ambulantes, as pessoas vão comprar as meninas na feira das crianças, e educam-nas nos institutos ou nos conservatorios, para adquirirem qualidades precisas nesta carreira, e são acompanhadas de seus empresarios.

Umas delas ainda muito jovem, por intermedio de seu empresario conheci que éra de procedencia "YOSHU", e a sua lembrança está conservada na memoria dos meninos que brincam. Si pudesse te-la em companhia, para ouvir com ela o badalar da Ave Maria, e trocar a idea, contudo a lingua me impossibilitou.

Saneamento da cidade de Tokio

Tokio Especial...

Com o desenvolvimento acentuado da industria, a maior parte dos desempregados e vendedores a força, desapareceram dos transitos, contudo os mendigos como antes vivem rogando esmolas publicas. O Departamento de Segurança Publica da chefatura de policia para o bem-estar dos habitantes, tentou elaborar um plano mais positivo, para isto ficou resolvido a convidar no dia 4 deste mês os membros do ministerio de restauração, da prefeitura e demais departamentos relacionados para se realizar uma reunião.

Atualmente em Tokio existe nada menos de 300 indigentes, e até agora a chefatura da policia nada pode fazer com os mendigos, pois quando uma delegacia tomava medidas severas para excluir-los, mas refugiam noutro distrito que está sob a fiscalização doutra delegacia. E por sua vez quando a delegacia (B) agia severamente, procuravam o refugio na zona que está sob a juridição da delegacia (A) e quando mesmo ambas delegacias entravam em vigor, dirigiam eles ás pontes que ficam na divisa entre as duas delegacias, dai para se safar desta situação pede a colaboração da prefeitura e da provincia para recolher, se for possivel a todos os mendigos e dar os trabalhos aos que estão possibilitados fornecendo-lhes as roupas, e aqueles que são debeis de fisico encaminharão para o instituto de beneficiencia.

Apos a reunião entrara imediatamente em rigor, este novo plano e todos os departamentos da chefatura, e delegacias regionaes entrarão em vigor, e no mais até o começo da primavera deste ano desaparecerão completamente os mendigos da cidade.

A palestra do chefe do Departamento da Segurança Publica da chefatura de policia. Desde ha tempo nem um plano satisfez a nossa intensão, mas desta vez reuniremos todos os mendigos e conceder os serviços aos que são capazes de trabalharem e internar os debeis nos institutos de beneficencias; eis o nosso plano positivo que entrará em vigor neste mês.

EDIFICAÇÃO DA TERRA DE PROMISSÃO
ASPECTO ACTUAL E A CHINA SETENTRIONAL

Tokio especial...

Para realizar a visita com intuito de verificar a actualidade do movimento de Comercio e Industria da Mongolia e de Manchucuo. O lente cathedratico da Universidade Imperial de Tokio da cadeira de Agronomia, Dr. Nasu, e professor honorario da Universidade de Pekim, apos dois mêses de estudo e observaçoes, regressou no mês de Setembro do ano passado, e no dia imediato ele expoz sua a palestra de pesquiza.

Todas cousas tendem para preparar um paiz pacifico, e tive as impressões muita diversas do que as do anterior.

O predominio dos lavradores é indiscutivel e mostra a quem quer que seja aos observadores uma das caracteristicas orientaes de homogeinidade, e julgo que os instrumentos agricolas do Japão bem adequaria para a lavoura continental.

Na China nordestina o que ha de mais anormal é a distribuição da chuva, dai os lavradores são vitimas dos danos provocados pela seca e a inudação, ao lado desta calamidade, são compensados pela colheita abundante, pois a terra é fertil e não carece dos adubos, contando que haja agua. É preciso pois a construção de um extenso dique, si o construir tudo está resolvido.

O JAPÃO EM GUERRA

(William Henry Chamberlim)

Ao povo, como a um todo, atormentado de idéas inquietantes e novos habitos, propôs uma combinação da fé nacionalista á moda antiga com as novas modas de econonomia.

No procedente parágrafo ha um postulado de excessiva simplificação. Nenhum chefe militar em 1931 com toda a probabilidade, imaginava todas essas complicações causadas pela derrota do chefe chinês de Manshucuo, Chan Hsueh-liang, exatamente como de todo improvavel que Adolf Hitler, no momento do seu primeiro sucesso em 1933, previsse Berchtesgadem, Godesberg e Munich. E a aceitação do programa do Exército foi antes instintiva que conciencíosa. Mas deveria ser reconhecido que o Exercito japonês é uma força mais dinamica que estatica, com um programa de mudança social e econômica que pode ser denominado revolucionário.

Alem disso o Exército não está de nenhum modo privado de um sentido de representação politica. De todas as vezes que os circulos comerciais e financeiros protestam contra alguma nova restrição á sua liberdade de iniciativa, um orgão do Exército prontifica-se logo a denuncia-los como impiedosos e avidos, e a apresentar o Exército no seu papel de defensor das viuvas e orfãos da guerra e das classes pobres em geral. Que não haveria viuvas e orfãos de guerra si o Exército tivesse prosseguido uma politica diferente e um "pensamento perigoso", que pode ocorrer intimamente a algum japonês, mas que visivilmente tem feito pouco curso. Uma divisão de classes, tal como existe no Japão, tende a tomar a forma de campo contra cidade, e muitos camponeses olham os jovens oficiaes, portadores de um proverbial radicalismo social, como os seus campeões de combate aos banqueiros e aos capitalistas da cidade.

A guerra tem afetada várias classes de vários modos.

(Continua)

A-O
HARA & Cia.

スパイの回想記

名門に生れたドイツの軍事探偵

アー・カー・グラーブス原著

一、土耳古宮庭に於て（2）

スタムマーは敬禮して出て行つた。私は次の室で待たされた。秘書官が私に彼は獨逸皇帝樞密院議長で伯爵ボート・フオン・ウエツデルであると教へて呉れた。

○

ウエツデル伯と言へば逢つたのは始めてだが、名を聞くことは度々であつた。樞密院議長として、右手では秘密諜報の政治的部門の長官をやつてゐる、私の將來は愈々興味深いものとなつた。

再び伯爵の部屋に呼び入られた私は、ウエツデル伯の注意深い凝視にぶつかつた、やがてあからさまに惚れ惚れとした眼でしばらく私を眺めてから彼は云つた

『いくつだネ君は』

『二十五歳です閣下』

『大變若いネ、若いネ』

そう云つて彼は再びしげ〳〵と見入つた。

『だが君の仕事に關する報告は充分立派なものだつた分別といひ智識と云ひ年齢以上のものを示してゐた』

○

私は頭を下げた。

『君、今日から此處の情報部に所屬して貰ふ事になつた、それで或る重大な事件に就て骨を折つて貰ひ度い命令とか指圖とかは只私一人からうけるのであつて、報告も直接私に丈すればよろしい、どんな部下とも逢つてはならん、私が許可を發しない者とは誰とも逢つてはならん、わかつたナ』

『ハイ解りました』

『金錢の事は私の秘書に云ひ給へ君の費用は一ヶ月毎に支拂はれるだらう、所で何時から仕事に就けるかナ』

『よろしい、早ければ早い程よろしい、之が君に要求することだ、君は直ちにコンスタンチノーブルに行き土耳古宮廷の役人でフランス又はロシアに雇はれて居るのを見つけるのだ、君は高級役人や將校の中から人氣者を見つけるだらう、特にそうした女の國籍に氣をつければよろしい、私は別に手引らしいものは與へん、そんなものは疑はれる結果に導くやうなものだ、あそこにゐる連中は皆狡猾な輩であるから充分氣をつけて

ゆつくりうまくやつて行き給へ、あの國では何事も慌てちや出來ない事が解る』

○

そこで彼は一寸休んだ、宛かも私の質問を期待したかのやうに、私が二三細い點を訊いた後、彼は續けた

『君の官名は今日から一七三四番である、個人的暗號通信は一七を使用し、公の報告又は通信には三四のサインを用ひるのである』

私の前以て必要な費用は彼の秘書と相談した後整へられた、そして私は自分の宿に歸り、しばらく戰闘計畫に就て思ひをこらし、使命に對する用意をとゝのへた、私はタブケン大佐の情報局から離れたのを喜んだといふのはウイルヘルムストラツセではずつと大きな外交問題に身近かに觸れる事が出來るからであつた。

コンスタンチノーブルに向ふ私は、その使命に最も適當した職業をえらんで扮するために少からず考へたものだつた、旅行家が先づ始めに頭に浮んだ、旅行家は一ヶ所に永らく滯在する事がないのだからこれは問題にならない、何故なら私は三四ヶ月はトルコに滯留する心算からである、コンスタンチノーブルには之と云つて調べるものはないのだ、旅順港で用ひた植物學者も考へたが、之も都合が悪い、商人にならうかとも思ひついた、然し此の考へは、相當な商人としてやらなければならない、取引關係の注意の要るまどろつこい仕事の事を思ふと、時間を浪費しすぎるから駄目だと思つた。

○

結局私は醫者となつて出發することに決心した、醫者はトルコではトルコ人及アラビア人から尊重され、尊敬される、そこで私は情報省に電話をかけてコンスタンチノーブルの獨逸人病院とバラ病院への紹介狀を貰へる樣にたのんだ、そして伯林慈善團体の權威者から、私が熱帶及亞細亞の疾病に就て研究する者であるから、その研究に便宜を與へられたしといふ紹介狀を貰つた、そして私は亞弗利加から連れ戻つたキムといふ黑人ボーイを伴つてその晩伯林發の東洋行の急行に乘つた。

來れ!! 職業紹介所
聖市コンセレイロ フルタード街二七三
電話二一八三四九
無料宿泊所 グロリヤ街 三八〇 竹村之虎 (CB)

貴金屬
貴金屬類は先づ當方の鑑定を經すして賣買されるな、當方は唯一の聖州政府公認 控訴院及第二軍團の指定鑑定人に付何時でも貴金屬の眞價を敎へて上げます (EB)
Sr. BRETANHA
Praça Patriarcha, 8 s/5-D Tel. 2-8272

主要產物市況
●カフエー (四級品) 一九、一〇〇
●アルゴドン (五級品) 六六、五〇〇
●白米(アグーリヤ)買値 エストラ 六三、〇〇〇
ポン 五〇、〇〇〇
●フエジヨン 買値
ムラチーニヨ 四九、〇〇〇
同上ポン 四八、〇〇〇
●ミーリヨ
アマレリニヨ 一七、〇〇〇
アマレロン 一六、一〇〇
●バタチンニヤ 買値
スペリオル 四〇、〇〇〇
ポ ア 二四、〇〇〇
●メリケン粉 一等品 三〇、〇〇〇
●砂糖(白極上) 三三、三〇〇
●バンニヤ(箱) 二六、〇〇〇
●マモーナ 一、三一〇

DR. H. FENICIO
Av. S. João 536-2 and.
Tel. 4-1188
聖市グローリヤ街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
Rua da Gloria 352
S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

痲病 (CB)
ケタリング治療器の使用によりその熱作用で僅か一、二回の治療で根治します。二ケ年の經驗あり。治療費僅少 診察無料

社告
野崎彌太郎
右弊社々員チエテ方面の愛讀者各位を訪問致させ候間何卒よろしく御配慮下され度御願申上げ候

南米新報社

胃專門
無手術にて休養を要せず
胃潰瘍 十二指腸
を治療し、其他、胃擴張 消化不良 胃弱 胃下垂 胃ガン 胃酸過多 等の諸病に特に經驗あり
診察所
R. Xavier de Toledo, 71-7° and.
Phone 4-0811
S. PAULO
診察時間 自午後二時至午後五時 (CB)

DR. RENATO PEREIRA DE QUEIROZ
(Medico Esp. dos Hosp. Americanos)

蒸汽機關及モトール各種
●電氣モトール 中古十馬力より四十馬力迄
●蒸汽モトール 十八、卅七十五及百馬力各種
●蒸汽機關 十八、卅及百五十馬力各種
●移動蒸汽機關 十二、十八、廿四及四十馬力
●材木用ブライナ、レール其他一般工場用器具機械
右何時にても引渡しが出來ます、品物は凡て保証付きです (HB)
POSATO MANFERE
R. Campos Sales, 722
C. Postal, 119
CAMPINAS
E. S. PAULO

特許取扱
アドルホ・ブルンネル
聖市サンベント街二〇〇 一階第九室
電話 二一四三三一

大阪商船發着
日本へ
北米經由 さんとす丸 サントス發 二月廿六日 横濱 着 四月十三日
南阿經由 はわい丸 サントス發 三月十五日 神戸 着 五月 七日
日本より
ケープより ぶらぢる丸 神戸發 一月十七日 サントス着 二月廿四日
ペノスより はわい丸 神戸發 一月 五日 サントス着 三月十三日

CASA HAMAOKA
Rua Carlos Garcia, 103 S. Paulo
肥料・農業藥品・種子物の注文は弊店へ
●配合肥料 アルゴドン用バタ、用蔬菜用 トマテ用其の他
●害虫驅除劑 ヴエルデパリス、アルセニテ トデシユンボ 硫酸銅
●農業用諸機械
●各種種子物
聖市 メルカド裏川向 カロズ ガルシア街一〇三 郵函 九九三
濱岡商店

料亭 青柳
聖市 ルア タバチンゲーラ 五六
電話 二一一九四八番

▽……アラサツーバへお出の節は是非當館へ
▽……秀峯富士の名に背かず形も氣持ちも瀟洒悟淡たる當館へ
富士旅館
白石織江
アラサツーバ市ブルデンテ・モラエス街九二 (CB)

告示

圓紙幣の所持者屆出に關する件

客年來我國に於ては一旦海外に流出した圓紙幣の輸入に對し國策上取締を設くること、なつた趣は周知の通りであるが一方當國在留民中には右取締りの實施前に於て單に貯蓄の目的を以て圓紙幣を買溜めて居た者も少くない模樣でこれ等の者は故國訪問歸鄉等の場合種々困難を生ずること、なり事情諒察すべきものがある。依つて今般帝國政府では此等邦人の歸國に當り其所持する圓紙幣の處置方につき便法採用方考究中の趣なるに付右に備ふる爲圓紙幣の所持者は本人又は代理人に於て本年二月末日迄に右紙幣持參所轄領事館に出頭し係官の指圖を受け所定の形式に從ひ紙幣入手に關する事項を詳細申告せらるゝ樣致し度し

昭和十四年十二月二十二日

在サンパウロ 帝國總領事館
在リベロンプレート 帝國總領事館分館
在リオデジヤネイロ 帝國領事館
在バウルー 帝國領事館
在サントス 帝國領事館
在ペレーン 帝國領事館